



この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

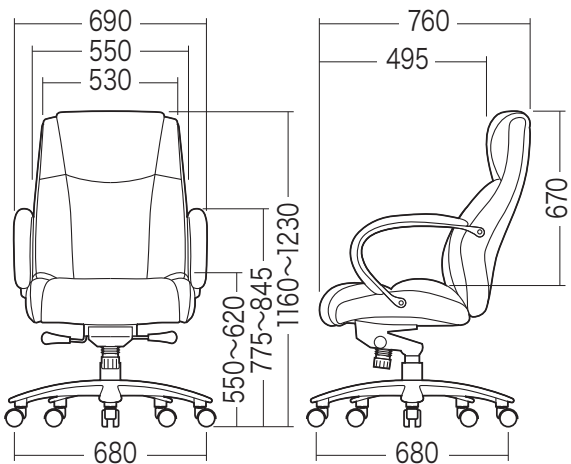
**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……

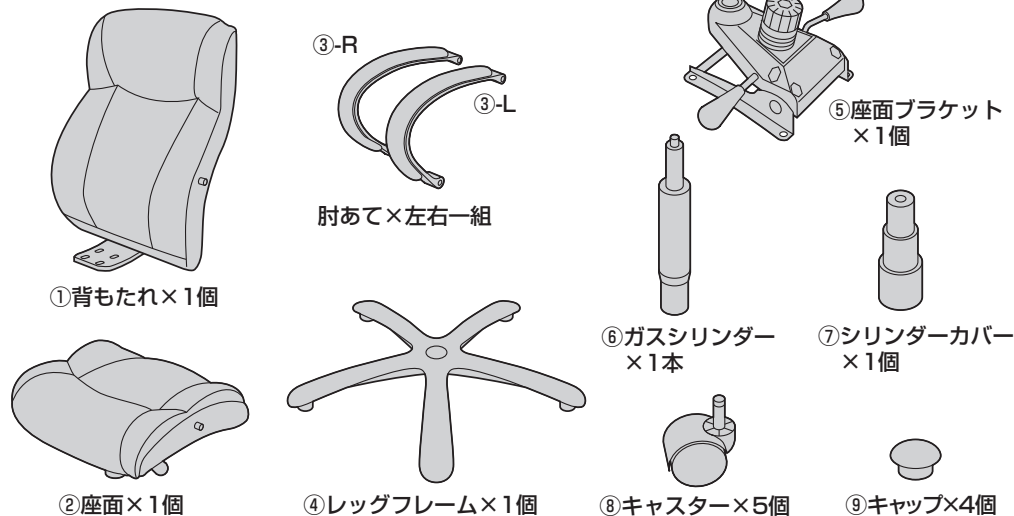
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)

完成図

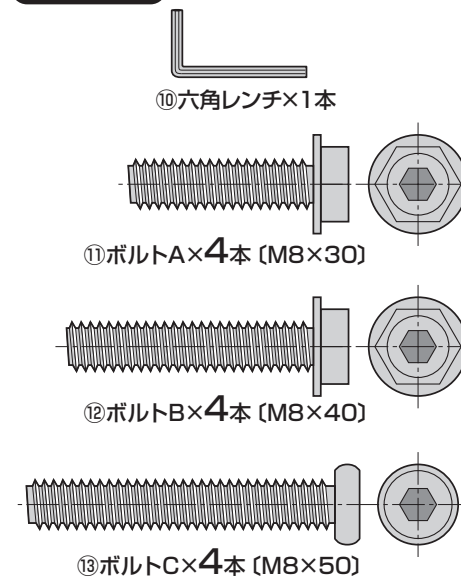


組立て部品

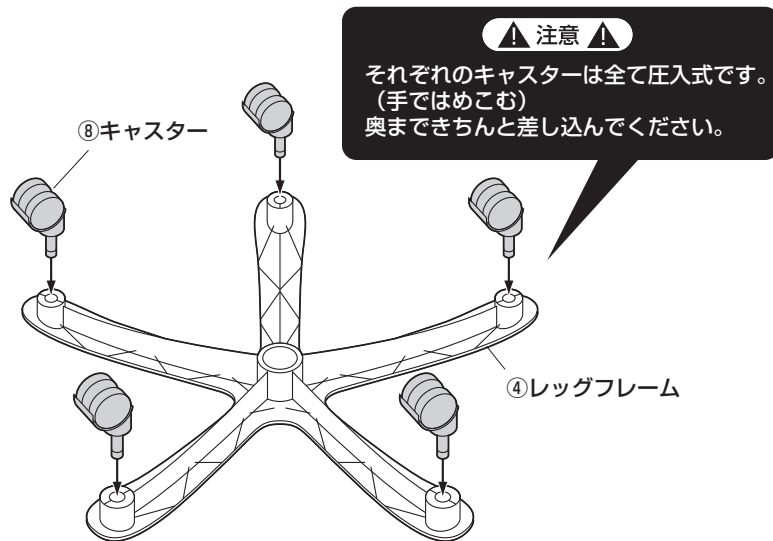
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNC089など)と
下記の部品番号(①~⑬)と部品名(六角レンチなど)をお知らせください。



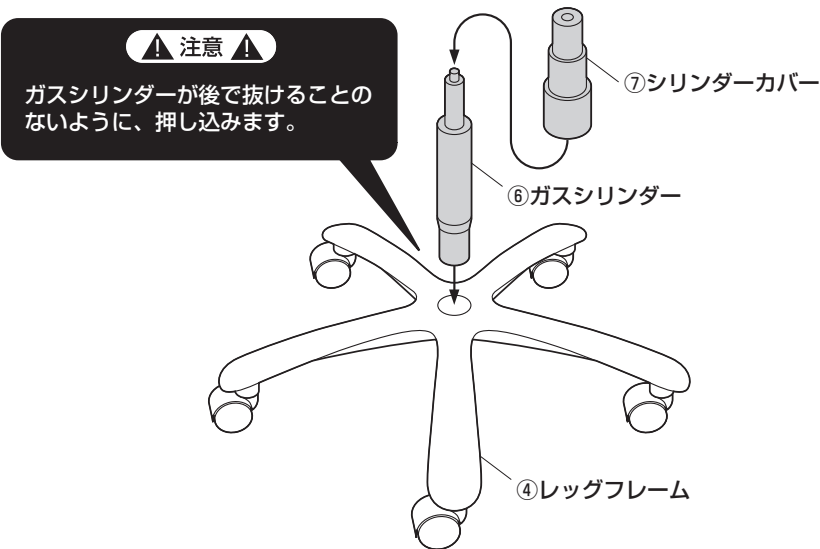
ボルトセット



1 レッグフレームをひっくり返し、キャスターを取付けます。

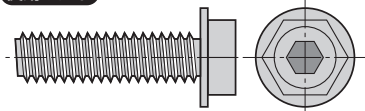


2 レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。



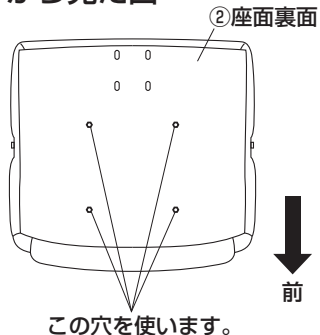
3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

使用ボルト



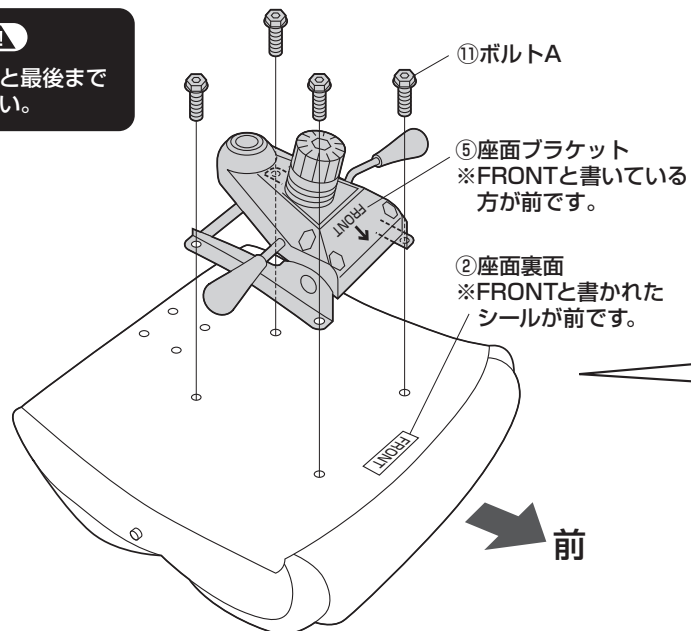
①ボルトA (M8×30)

下から見た図

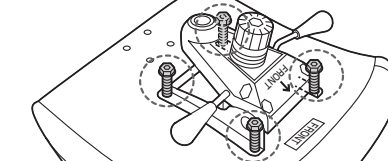


▲注意▲

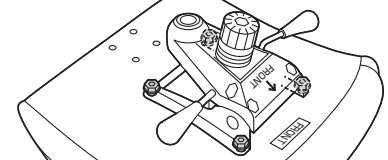
ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。



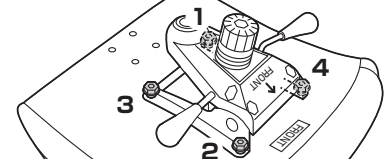
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。

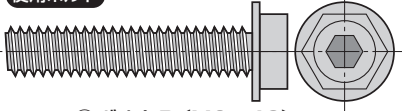


③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。



4 背もたれに座面を取付けます。

使用ボルト

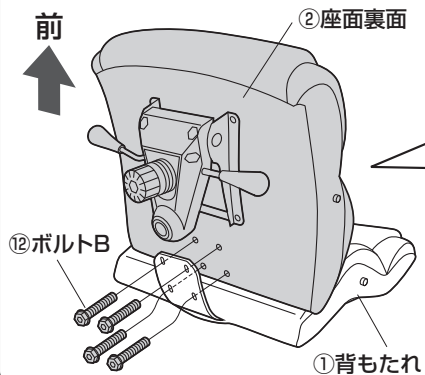


⑫ボルトB (M8×40)

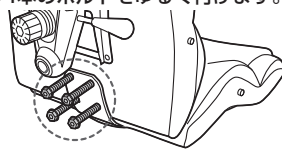
▲注意▲

ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

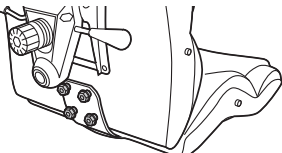
前



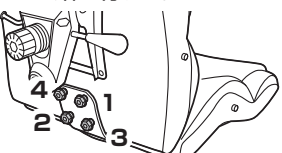
①4本のボルトをゆるく付けます。



②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。

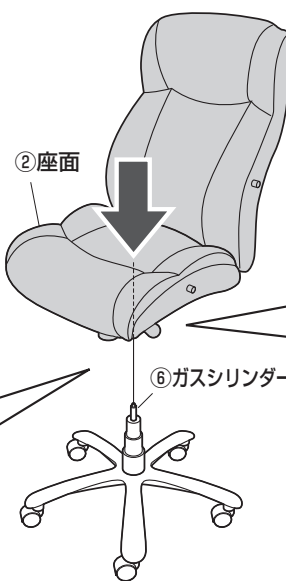
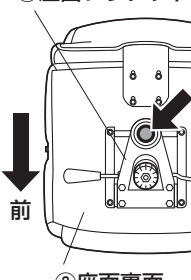


5 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

下から見た図

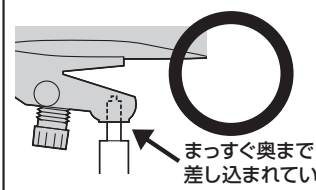
座面の下の穴に差し込みます。

⑤座面ブラケット



▲注意▲

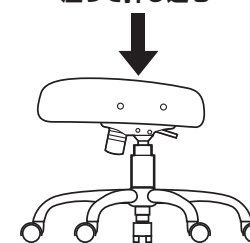
座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

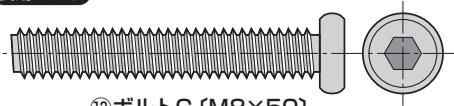
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

座って押し込む



6 肘あてを取付けて完成です。

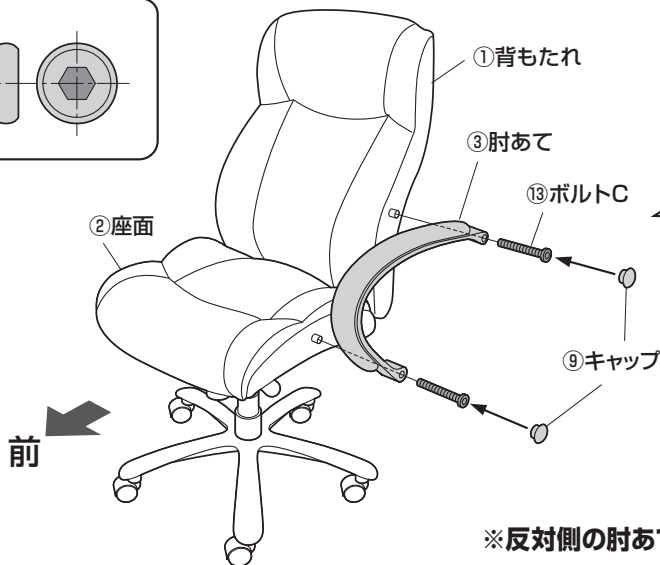
使用ボルト



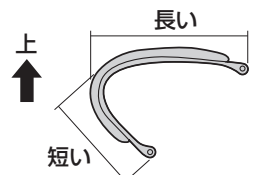
⑬ボルトC (M8×50)

▲注意▲

ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。



横から見た図 肘あては長い面が上です。



※反対側の肘あても同様に取付けます。

チェアの品質表示

外形寸法：幅690×奥行760×高さ1160～1230mm (座面高さ550～620mm)
構造部材：座部/合板 背もたれ部/合板 脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：PUレザー クッション材：ウレタンフォーム

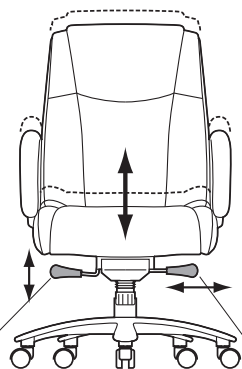
▲使用上の注意▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面、肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

各部の調節方法

▲注意▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

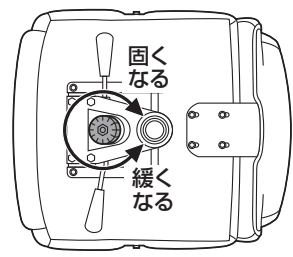


左側のレバーを引き上げると座面の高さ調節ができます。

右側のレバーを外側に引き出すとロック機構が働き、差し込むと固定されます。

下から見た図

前 ←



下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。

